

2026 年 10 月 16 日

一般社団法人 日本保険薬局協会
会員 各位

一般社団法人 日本保険薬局協会
会長 藤井 江美

サイバーセキュリティ・レジリエンス対策及びチェックリストの運用徹底について

平素より当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省は、2026 年 10 月 9 日付事務連絡により、近時の不正アクセス事案を踏まえた対策の実施と、高性能 AI の悪用リスクに関する注意喚起の再周知を求めています。

警察庁が公表した資料によると、令和 8 年上半期のランサムウェア被害企業・団体等へのアンケートでは、VPN 機器又はリモートデスクトップからの侵入が有効回答 36 件中 27 件（75.0%）でした。また、バックアップから復元できなかったとの回答は、有効回答 40 件中 29 件（72.5%）でした。

病歴や服薬情報等を扱う薬局では、情報漏えいやシステム停止が患者への影響や医療提供の中断につながるおそれがあります。予防に加え、被害時の業務継続・復旧を支えるレジリエンス（対応・回復力）の強化も重要と考えます。既存の取組の充実・見直しに向け、以下を共有いたします。

記

1 チェックリストの運用徹底

令和 8 年度版「医療機関・薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及びマニュアルを用いた点検・改善の継続が重要です。

- ・ **経営層の関与と責任体制**：点検結果・改善状況を経営層が把握し、責任者・担当部署・管理職・現場の役割と報告・意思決定体制を明確にしておくことが重要です。人員・予算の確保も必要と考えます。
- ・ **システム・委託先・保有情報**：機器・ソフトウェアの更新、委託先の遠隔保守を含む外部接続、認証・アクセス権限・ログ管理の継続的な確認が重要です。委託先・再委託先との役割分担や保有情報の所在・利用目的・保存期間を把握し、法令上の保存義務等を踏まえて管理することが必要と考えます。
- ・ **適切なバックアップ**：定期的な取得と、ネットワークから切り離すなど暗号化・消去に備えた保護が重要です。委託先等と連携した復元テストにより、必要なデータの復元可否と所要時間を確認しておくことも有効と考えます。

2 有事の備え及び訓練の実施

経営層・関係部署・薬局現場が参加する訓練を通じ、事業継続計画（BCP）や初動対応手順を検証することが重要です。社内外への連絡・報告、業務の継続・停止・再開の判断、患者対応や代替運用について、役割分担と対応手順を確認しておくことが有効と考えます。

3 継続的な教育及び対策の見直し

経営層から現場まで、リスクと役割を理解し、実行につなげる教育が必要と考えます。点検・訓練で把握した課題を改善し、システム・委託先の変更、人事異動、新たな脅威に応じて、対策・規程・教育内容を更新することが重要です。

本通知を関係部署及び各薬局で共有いただき、対策の充実・見直しにお役立ていただければ幸いです。

以上

添付資料

- ・ 事務連絡_不正アクセスによる漏えい等の事案を踏まえた対応について_一般社団法人 日本保険薬局協会御中
- ・ 別添 1_不正アクセスによる漏えい等の事案を踏まえた対応について（2026年10月9日内閣官房国家サイバー統括室）
- ・ 別添 2_高性能 AI 悪用によるサイバー攻撃に対する注意喚起
- ・ 事務連絡_大規模な漏えい等事案を踏まえた対応について（注意喚起）の周知について_一般社団法人 日本保険薬局協会御中
- ・ （都道府県向け）事務連絡_大規模な漏えい等事案を踏まえた対応について（注意喚起）の周知について

参考

- ・ 厚生労働省 安全管理ガイドライン第 7.0 版・令和 8 年度チェックリスト・マニュアル
(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000516275_00006.html)
- ・ 警察庁「令和 8 年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」
([R08_kami_cyber_jousei.pdf](#))